

事務事業名	市ホームページ開設事業				担当	総務部 情報政策課 広報広聴係		
政策名	F	市民の知恵と夢で拓くみんなのまちづくり			増補版施策名			
施策名	3	開かれた市政の推進			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画	真岡市情報化計画				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠	真岡市ホームページ管理運用要綱					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成9年度～）		
予算科目	1. 一般会計	2. 総務費	1. 総務管理費	1. 総務管理費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	真岡市の行政情報や市のPRなどについて、情報をホームページに掲載し市内外に発信している。掲載にあたっては、CMS（コンテンツ・マネジメント・システム）により、担当課から直接ホームページの新規・更新情報を掲載している。平成27年4月からツイッターを導入し、ホームページと連動した情報発信を行っている。平成30年3月にリニューアルを行い、全ての人が使いやすく災害に強いシステムを構築した。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 31年度実績 ホームページの操作研修会を実施し、ツイッターの活用等、全ての職員が積極的に情報発信に取り組むよう促した。 2年度計画 前年度と同様にトップページ等の管理を行うとともに、職員に向けてホームページの積極的な活用を促していく。アクセス集中時のデータ渋滞を回避するコンテンツデリバリーネットワークシステムを導入する。	⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
	ア 更新したホームページの頁数	回	2,542	4,190	2,917	5,077	6,000	
	イ							
	ウ							
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 真岡市に関する情報を必要としている人	⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
	ア 市民の数（翌年度4/1現在推計）	人	79,422	79,542	79,414	79,324	78,874	
	イ							
	ウ							
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 市民生活の利便性の向上と真岡市のPR強化を図る	⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
	ア 総ページビュー数	件	2,445,328	2,652,636	2,750,444	2,996,990	3,000,000	
	イ							
	ウ							
④ 結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） 開かれた市政の推進、市民生活の利便性の向上、市のPR強化	⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
	ア ホームページにより市の情報を知った割合	%	16.6	13.9	17.3	21.8	22.0	
	イ							
	ウ							
(2) 総事業費の推移		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	0	8,001	3,007	3,456	4,494
	事業費計(A)	千円	0	8,001	3,007	3,456	4,494	
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間	485	1,020	383	510	510
		人件費計(B)	千円	2,014	4,233	1,597	2,062	2,062
トータルコスト(A)+(B)		千円	2,014	12,234	4,604	5,518	6,556	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	地域情報化を推進し、教育、文化及び市民生活の向上並びに情報通信に関する知識の普及を図るため、平成9年に真岡市情報センターを開設した。情報センターの事業の一環として、行政情報や観光情報などをインターネットを利用してリアルタイムに提供する市ホームページ事業を開始した。
② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	平成23年度にCMS（コンテンツマネジメントシステム）を導入し、情報提供側の利便性の向上を図るとともに、平成26年度にツイッターを導入した。スマートフォンを利用した閲覧者が増加し、情報の即時性や内容・画面構成など、閲覧者の要求も高くなっている。平成31年度（令和元年度）から、市の情報発信を積極的かつ組織的に展開するため、広報広聴係、シティプロモーション係、情報管理係で組織する情報政策課を新設した。この組織再編による体制強化や、いちごサミット等の影響により、各課においてホームページの更新も頻繁に行うようになった。
③ この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 積極的な情報提供を図り、市民の市政参加による開かれた市政を実現するため。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市の情報を提供している。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある ホームページをとおして行政情報を提供することは、市民生活の利便性の向上と開かれた市政の実現を図るために有効である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 平成29年度に基本システムをリニューアルし、利用者が使いやすいものとした。併せて、災害発生時にもホームページを迅速に更新できるクラウド方式を導入した。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 行政情報の効率的な提供に支障をきたす。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ （仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある システム運用のための必要経費である。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある ホームページの適正な管理のため必要な人件費である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 受益者負担はない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し（ <input type="checkbox"/> ：目的妥当性 <input type="checkbox"/> ：有効性 <input type="checkbox"/> ：効率性 <input type="checkbox"/> ：公平性） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							